

# ひとみ

令和7年9月4日  
さくらの学び舎  
世田谷区立笹原小学校  
校長 吉田 健二  
目の教室 学級通信

## 2学期も よろしくお願ひします

暑く、長い夏休みを終え、目の教室にも子どもたちが元気いっぱい、笑顔いっぱいで戻ってきました。夏休みの思い出を話す表情も晴れやかで、充実していたことが伺えました。

目の教室の集団活動では、以前より、選手や支えておられる方々によって、ゴールボール、ブラインドサッカーなどのパラスポーツを体験する機会をいただいています。今年度も、ゴールボールを体験します。

日頃の個別指導に加え、子どもたちは、気心の知れた仲間たちと過ごす集団活動でも、強くたくましく成長していきます。理解し合え、支え合える仲間の存在は、心強いです。2学期は大きな行事がある学校も多いことと思います。子どもたちが安心して、思いきり頑張れるよう、職員一同、努めます。今学期もご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## \*よくみるための道具、視覚補助機器等について\*

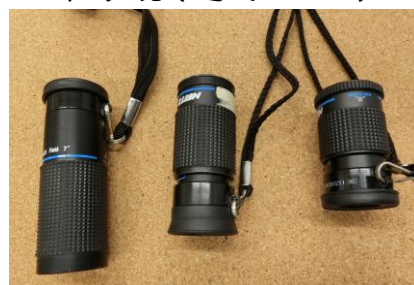
### \*書見台(ななめ机)\*



机が斜めになっていると、姿勢を維持したまま、目を近付けることができます。目や首、肩が疲れないので、とても助かります。

### \*弱視レンズ\* 手早くピントを合わせて、使います。

#### 単眼鏡(遠用レンズ)



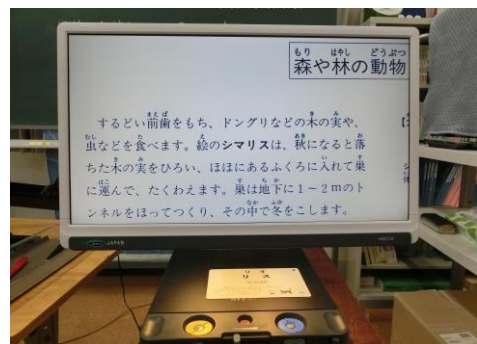
遠くのものを見るために使います。長くなるほど、倍率は上がりますが、見える範囲は、狭くなります。

#### ルーペ(近用レンズ)



近くのものを見るために使います。用途に合わせ、倍率と種類を選びます。手で持つ、置いて使う、ライトがつくなど多種多様です。

### \*拡大読書器\*



可動台に置き、モニターに映します。50倍まで拡大でき、広い範囲を見たり、両手で作業したりでき便利です。遠くが見られるものもあります。

### \*タブレット端末\*



教科書閲覧アプリを使ったり、カメラ機能を使って板書や観察する昆虫や植物を写真に撮って拡大したりと、とても便利に使っています。

### \*拡大教科書\*



ボランティアのみなさんや教科書会社が作ってくださっています。中央の通常の教科書よりも文字が大きく、見やすいです。

## \*学習発表会等~ご配慮・ご協力をお願いします~\*

「見えにくさ」があると、舞台発表に関しても困難が生じることがあります。一人一人の実態に合わせてご配慮くださいますよう、よろしくお願いします。

### 【台本について】

小さめの文字でぎっしり書かれた台本は、読み通したり、自分の台詞を探したりすることが難しい場合があります。お手数をおかけしますが、児童の実態に応じて、見やすい大きさの文字で別途印刷していただいたり、印を付けるよう促したりしていただけると助かります。また、PDFデータをご提供いただければ、iPadでUDブラウザアプリを用い、自由に拡大し、見ることができるのでありがたいです。

### 【舞台練習では】

慣れないうちは、自分の立つ位置や動く方向などがつかみづらく、戸惑ってしまったり、全体の動きが分からず、立ちすくんでしまったりすることが多々あります。具体的に指示を出したり、立ち位置に連れて行き、目印になるものや近くに立つ友達を伝えたりしていただけるとありがたいです。一緒に動く友達が固定していると、なお心強いです。

### 【発表会当日は】

薄暗いと見えにくくなる子どもは、特に安全管理について配慮が必要になります。舞台裏、奈落などの暗い場所では、教師や友達と一緒に手をつないで移動し、足元の段差や避けなければならないものを教えていただくなどのサポートをお願いします。一方、光に対して眩しさを感じる子どもは、舞台上のスポットライトなどの強い光のため、非常に見えにくい状態になってしまいます。まぶしさを軽減する衣装やサングラス、小道具の工夫、友達の協力などがあると助かります。



弱視の子ども一人一人の見え方が違うように、必要な配慮も一人一人違ってきます。実際の場面で困っていること、その解決策を本人と話し、一緒に考えていただけるとありがたいです。生きていく力を育てるための大切な学習になります。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## ~拡大写本ボランティアグループ「はなびら」のみなさん、 ありがとうございます!~

★手作りの拡大写本ボランティアグループ「はなびら」(<https://hanabira1972.jimdofree.com/>)のみなさんから、今年も拡大写本をいただきました。拡大写本というのは、見えにくさのある人のために、読みやすい大きさの文字で書き直した本のことです。単純に拡大コピーをするのではなく、文字の大きさや形、全体のレイアウトやページの区切りなども工夫して、「原本のイメージを尊重し、どうすれば読み手の子ども達にとって読みやすい本ができるのかを、日々試行錯誤しながら」作ってくださっています。子どもたちのニーズを知ろうと、拡大本を読んだ子どもたちの感想や読みたい本は何かなども、細かく尋ねてくださいます。いつも寄り添ってくださり、ありがたいです。大切に読ませていただきます。

★全国各地でたくさんの拡大写本のボランティアグループのみなさんが、見えにくさのある方々のために活動なさっています。目の教室にもニーズに合わせた手作りの拡大教科書を使わせていただいている児童がいます。一番見やすい大きさの文字、色使い、使いやすいレイアウトをと、工夫してくださいます。かけていただいた手間、時間、愛情に感謝し、これからも大切にに使わせていただきます。

